



新橋下流方向を望む 15:00 甲武橋水位：1.22m



百間樋堰から溢れる濁流



7号堰（低水護岸工事ご最初の出水）



7号堰（根固め工事は終わったが土砂堆積が激しい）



6号堰（低水護岸工事が終わり河床も平坦された）



日野地区 仮設堤の土砂はここに積み上げられた。



武田尾水管橋下流側の仮設工事 工事説明未確認

武田尾の嵩上げ工事は順調に進み景観も流れも変わる？



武庫川の植物再生実験施設

斜面の雑木が伐採され太陽光パネルが設置されていく。



太陽光パネル設置箇所から花の峯住宅を見下ろす。

斜面の雑木が伐採され太陽光パネルが設置されていく。

2月13日14時～14日5時にかけて断続的な降雨があり（自宅で83mm 三田52mm）甲武橋水位1.39mで異常とは言えない出水だったが、新橋下流側では濁流が高水敷を洗った。下流で行われていた復旧工事も殆ど終盤を迎え7堰下流側は根固め部のみ浚渫され中央部の土砂堆積部まで濁流が流れたが平水に戻ると右岸のみの流れになった。日野地区は、水標近くまで工事に使われた土砂が盛りつけられ相当様子が変わった。丈夫になった？

武田尾では工事目的は確認してこなかったが水管橋下流側に大量の土嚢が積まれ、嵩上げ工事区間も順調に工事が進み、昨年の被害箇所もきれい修復され、まちの景観も大きく変わって来た。リバーサイト住宅跡地では植物再生事業が行われていたが、期待に反しささやかな物。花の峯住宅では雑木が切り倒され葡萄棚様の太陽光パネル設置が進む。